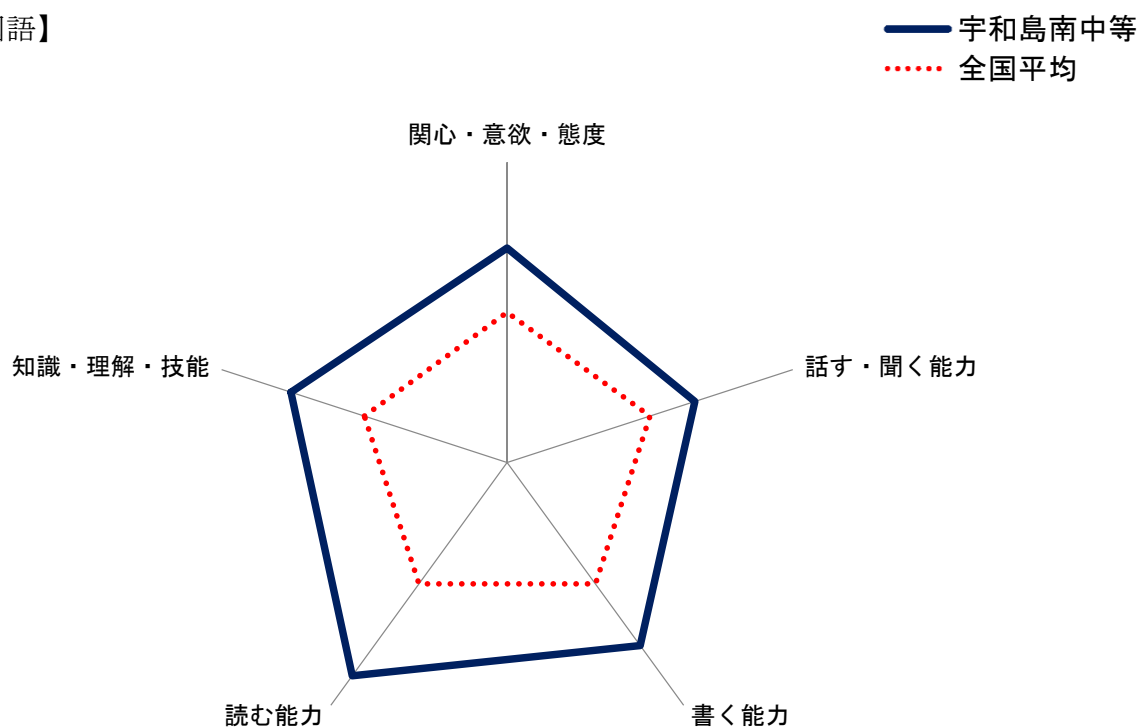


令和3年度 全国学力・学習状況調査  
(各教科観点別の状況) 結果

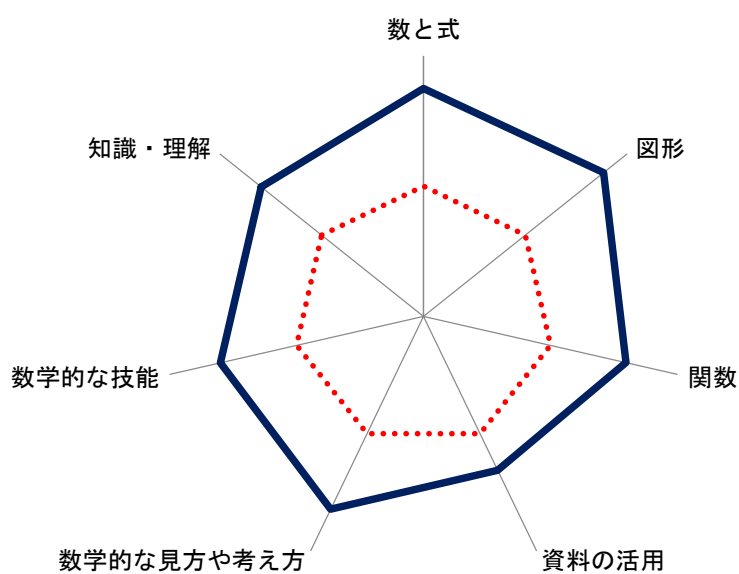
宇和島南中等教育学校

○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】



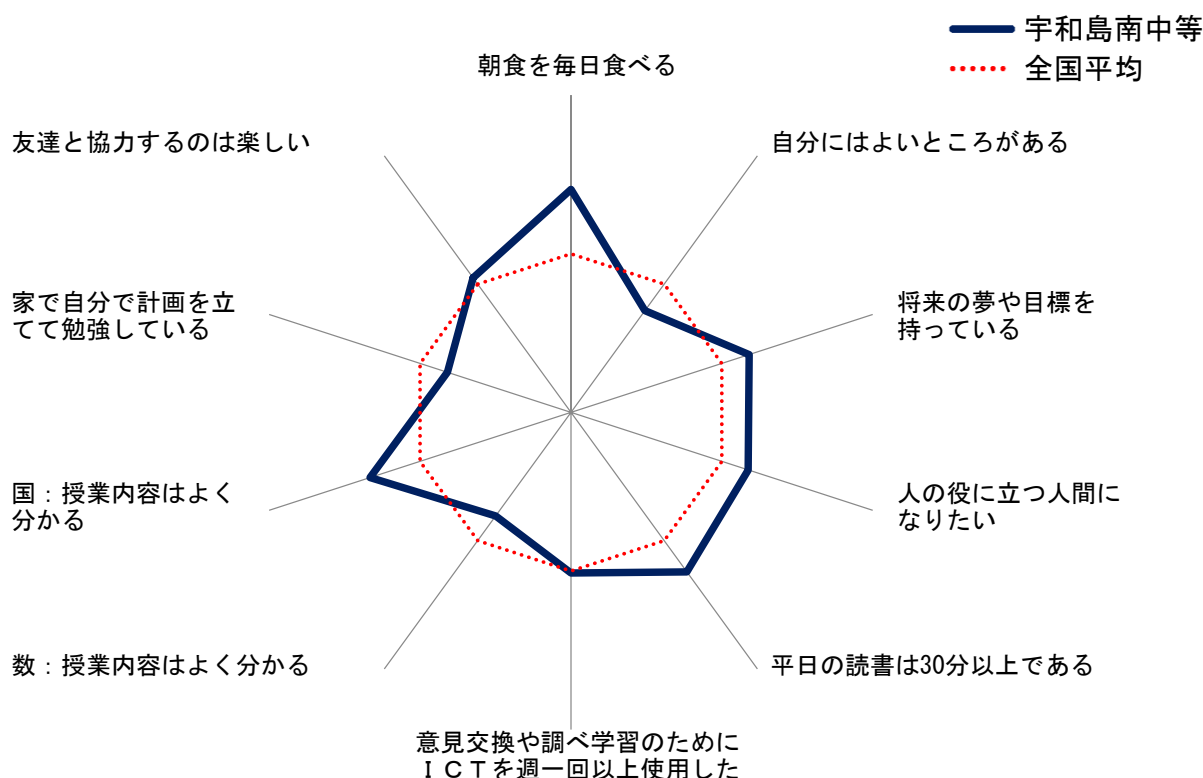
【数学】



令和3年度 全国学力・学習状況調査  
(学習や生活の状況) 結果

宇和島南中等教育学校

- 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



- 結果の分析と改善策

【国語】各領域に関する問題とも、平均正答率は全国平均を上回っており、標準以上の学力は身に付いている。特に「読む能力」が全国平均を大きく上回っている。課題学習で、多くの長文を読んだり、朝読書等で様々な文章に接したりしていることが「読む能力」の育成につながっていると考えられる。「知識・理解・技能」も全国平均を大きく上回っているため、前期課程全体で取り組んでいる漢字・語句の学習について、今後も継続していきたい。全国平均との差が比較的小さいのは、「話す・聞く能力」であるが、この領域は、学校生活のあらゆる場面で育成が可能である。授業とも連携し、機会を捉えて学習の機会を持ちたい。また今後は、国語に対する「関心・意欲・態度」が更に高まるよう、ICTを授業・家庭学習で積極的に活用し、生徒の自発的な学習につなげたい。

【数学】全分類、全設問とも正答率が全国平均を上回っており、「数と式」「図形」の問題に関しては大きく上回っている。その一方で「資料の活用」の問題の正答率は60%を切っており、全国平均との差も小さい。特に、グラフからデータの傾向を捉え、判断の理由を記述する問題は正答率が非常に低く、県平均を下回っている。この問題の無回答率が20%を超えていることから、自分の考えを、数学的な表現を用いて説明することに苦手意識を持っている生徒が多いことがうかがえる。授業では、自分の考えを書いたり話したりする時間を確保し、数学的な見方や考え方を身に付けられるよう努めたい。

【生徒質問紙】今回の質問項目については、基本的な生活習慣の指標の一つでもある「朝食を毎日食べる」が全国平均を上回っている。引き続き学校や家庭が連携し、食育の推進に取り組みたい。「意見交換や調べ学習のためにICTを週一回以上使用した」については、全国平均と同水準であるが、情報活用能力は学習の基盤となる資質・能力であることを踏まえ、各教科等においてICTを適切に活用した学習活動の充実を図りたい。また、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」の項目で全国平均を上回っている一方で、「自分にはよいところがある」の項目で肯定的な回答が少なくなっている。今後は、学校教育活動全般において、生徒一人一人が達成感や充実感を得られるような活躍の場を増やし、互いに認め合い、励まし合う学級集団づくりを進める中で、自己肯定感や自己有用感を育んでいきたい。